

水問題に関する協議会・第6回幹事会の概要

水問題に関する協議会第6回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

- 1 日時 平成24年1月13日(金)午後2時から午後3時まで
- 2 場所 県庁第2別館6階大会議室
- 3 会議の概要

県から市民説明会における主な意見とその回答について説明し、その総括を行うとともに、西条市から道前平野地下水資源調査結果概要の報告があり、西条市の地下水の状況について意見交換を行いました。

【西条市の報告のポイント】

西条市の地下水は、年間を通じて収支のバランスはとれていること
かんがい期に地下水の低下と一部地域で塩水化が見られること
このため、西条市としては、加茂川の伏没涵養メカニズムを存続させるとともに、必要な加茂川の流量を確保する必要があると考えていること

【主な意見交換の内容】

- (1) 松山市における再度の説明会開催について
(西条市) 松山市で再度市民説明会を開催する考えはないか。
(松山市) 市民への情報提供の必要性は十分に認識している。今後とも市のホームページや広報誌などを活用し、積極的に情報提供をしていく。また、機を捉えて説明会を開催することも柔軟に検討したい。
- (2) 加茂川の流量確保について
(県) 西条市から、地下水の低下と塩水化を防止するためには、加茂川の流量確保が必要である旨の説明があったが、加茂川の流量を確保するためには、黒瀬ダムからの補給が必要と思うがどうか。
(西条市) 流量確保方策については、この協議会で、黒瀬ダムを含めた加茂川全体の水資源の有効活用を協議する中で検討願いたい。
- (3) 地下水低下防止対策について
(松山市) 西条市が進めようとしている地下水低下防止対策については、市民の理解や関係団体との調整など難しい点もあると思うが、どのような見通しを持っているのか。

(西条市) 地下水位低下時に家庭用うちぬきのバルブを閉めることについては、貴重な水資源であることを市民に認識いただき、バルブ設置の協力を求めていると考えている。

農業用かんがい水の表流水への部分転換については、各団体と協議した上で必要とあれば、河川管理者である県と協議していきたいと考えている。

塩水化地区水道水源の加茂川表流水利用については、今後水道計画を検討する中で考えていくが、まずは塩水化を食い止めることが最重要課題であり、この点に重きを置いて対処していきたいと考えている。

(4) 塩水化について

(新居浜市) これからの気象条件や社会条件を考えると、このままでは更に塩水化が進むおそれがあるのではないかと。

(西条市) 塩水化防止対策は一つの方法だけではなく、地下水の涵養を促すものと使用を制限するものの複数の方法で対応していきたいと考えている。

【会議の結果】

次回に向けて、西条市の地下水低下と塩水化を防止するため、具体的方策の検討を始めることになりました。